

金環日食2012

5月21日(月)曾爾中学校で【金環日食】の観望を行いました。

金環日食とは、太陽が月に覆われリング状に見える現象のことです。今回は国内では25年ぶり、近畿地方では282年ぶりの日食。国内で約8000万人以上の人が見られるそうです。

生徒は朝練用のバスで登校し、全校生そろって7時20分から観望しました。曾爾の日食は6時16分～8時54分までですが、中心食は7時27分です。最大食は7時29分～7時32分であり、この4分間は太陽がリング状に見えます。

しかしちょうどタイミングで雲が重なるようにして見えなくなりました。それでも数十秒ぐらいは、リング状の太陽を見ることができました。

僕は、初めて【金環日食】を見ることができてすごくきれいで感動しました。他にも「何年後かにまた見る機会があれば見に行きたい」と言っている人もいました。



～3年生に出された問題にこんなものがありました～

Q、実際の太陽は、地球のほぼ100倍の大きさで、月は地球の4分の1の大きさである。だが、なぜ太陽と月はほぼ同じ大きさに見えるのだから。

A、太陽の大きさは月の400倍。次に、地球から太陽の距離は、地球から月までの距離のおよそ400倍になっていることがわかる。したがって、地球から見たとき、太陽と月はほぼ同じ大きさに見えるから。